

鹿部町役場 新庁舎完成

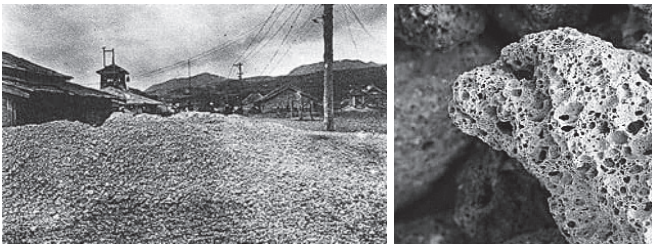


所在地 北海道茅部郡鹿部町字鹿部252番地1
敷地面積 9,991.41㎡
構造 鉄筋コンクリート造
建築面積 1,066.28㎡
延床面積 3,238.21㎡
階数 地上4階建て

施設 ①新庁舎 2,829.89㎡
②重機車庫 308.00㎡
③公用車庫 76.32㎡
④温泉槽 24.00㎡
駐車場 来庁者：33台(うち身障者用駐車場：2台)
職員用：90台

「逆境に立ち向かう、不屈の精神」

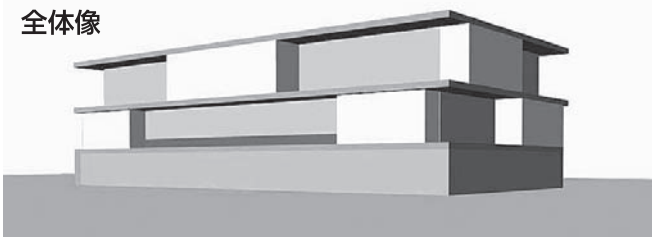
歴史・風土・資源を活かした庁舎



平面のイメージ



全体像



鹿部町は、幾度も噴火災害に見舞われ、大きな被害を受けた反面、降り積もった「軽石」が湿地帯の土地改良や海での昆布生育に役立ちました。

「軽石」は町民の逆境に立ち向かうという、「不屈の精神の象徴」になりました。

これまでの町の文化・歴史が積み重なって現在の町が成り立っていることから、立面は、降り積もった軽石によって、積層された地層を表現しています。平面は、諸室面積を確保するために必要な面積だけ張り出し、軽石の凹凸を表現しています。また水平庇は、南面の日射遮蔽にもなります。

「逆境に立ち向かう、不屈の精神」を象徴し、勇気や資源をくれた軽石をモチーフとし、鹿部町らしい外観デザインとしています。

また、町内には温泉の泉源が30ヶ所以上あり、その豊富な温泉資源を庁舎の熱エネルギーとして活用し、ランニングコストを低減し、省エネルギー化を図ります。